

上越教育大学概要

平成3年度



目 次

創設の趣旨・目的	1
沿 革	2
組 織 図	4
運 営 図	5
役 職 員	6
職員の定員	7
部及び講座の構成	8
学 生 数	10
入学志願者数及び入学者数	11
都道府県別入学状況	12
就職状況	14
奨学生数	15
福利厚生施設	16
公開講座等	18
附属図書館	20
学校教育研究センター	21
附属実技教育研究指導センター	22
附属障害児教育実践センター	23
情報教育研究・訓練センター	24
保健管理センター	24
附属学校	25
建物配置図	26
土地・建物	29
位 置 図	30
所 在 地	32



みどりの園

創設の趣旨・目的

戦後のわが国教師教育の実情を背景にして、本学は学校教育に関する理論的・実践的な研究・教育を推進するために、現職教員を主対象とする大学院に重点を置いた国立の教育大学として創設された。

大学院は、学校教育研究科（修士課程）とし、主として初等中等教育の理論と実践に係わる諸科学の総合的・専門的研究を行うとともに、初等中等教育教員に高度の学習と研究の機会を与え、その理論的・実践的な能力の向上を図ることをねらいとしている。

学部は、学校教育学部とし、初等教育教員養成課程を置き、児童等の成長と発達に関する総合的な理解の上に、全教科・領域にわたる優れた指導能力を備えた初等教育教員を養成する。

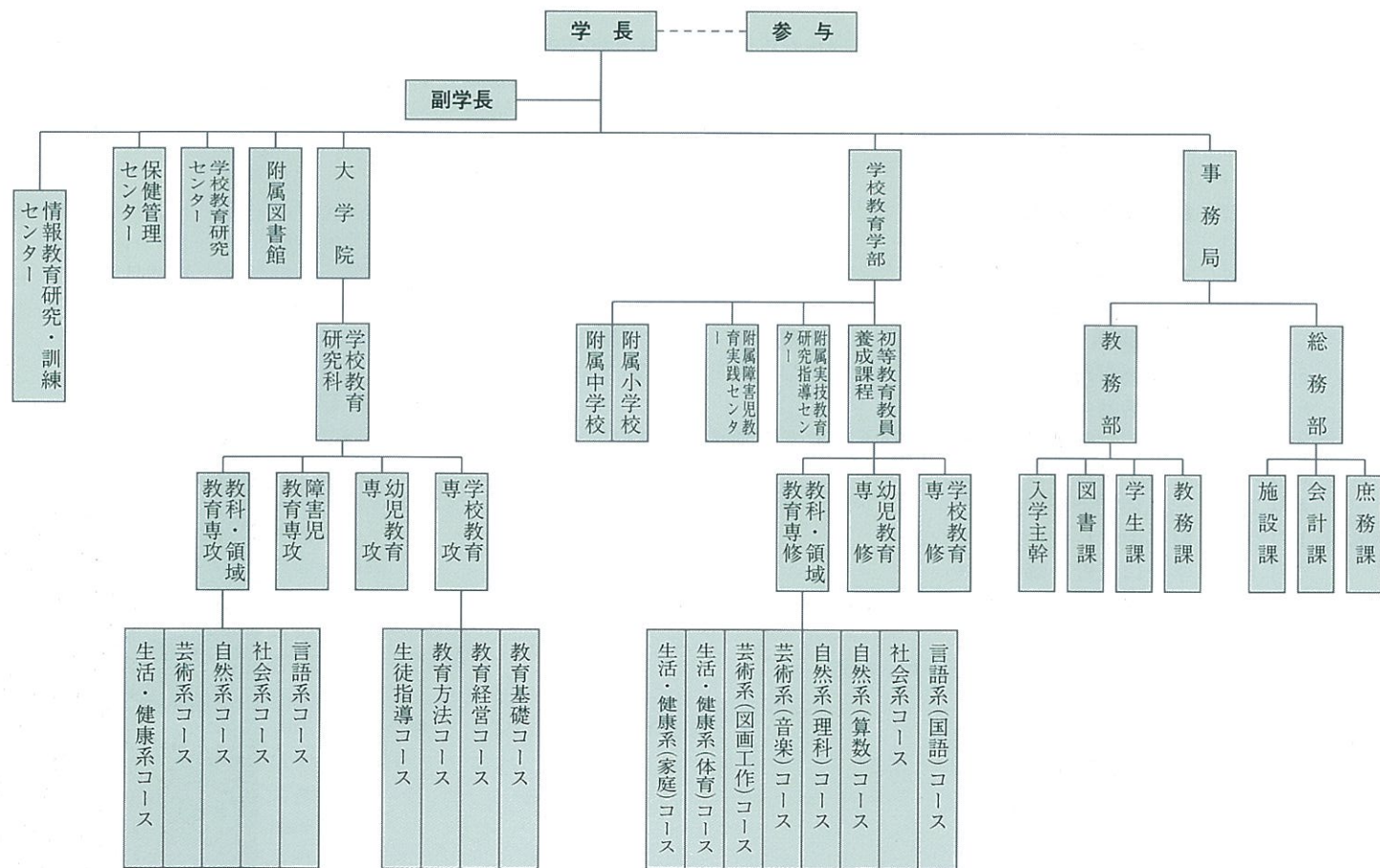
沿革

- 昭和51年 8月1日 文部省内に「教員大学院大学創設準備室」設置（室長 須田 八郎）
- 昭和53年 6月17日 第84国会で「国立学校設置法及び国立養護教諭養成所設置法の一部を改正する法律」が成立し、本学の新設が決定
 - 10月1日 **上越教育大学が開学し、学長に辰野千壽就任、事務局を新潟大学教育学部高田分校内に設置**
- 昭和56年 1月25日 昭和56年度学部推薦入学者選抜試験実施
 - 3月4～6日 昭和56年度学部入学者選抜試験実施
 - 3月25日 学生宿舎一部、人文棟竣工
 - 4月1日 「国立学校の附属の学校に関する政令の一部を改正する政令」及び「国立学校設置法施行規則の一部を改正する省令」の施行に伴い、**附属実技教育研究指導センター、附属小学校、附属中学校の設置**（附属学校は新潟大学教育学部附属高田小・中学校を移管）
 - 4月16日 **第1回学部入学式举行**
 - 4月20日 旧新潟大学教育学部高田分校の校舎等の一部を使用し、授業開始
 - 5月25日 講義棟、実験棟、大学会館、設備機械棟竣工
 - 6月8日 山屋敷地区の第一期工事の校舎等の完成に伴い、事務局、研究室、学生宿舎等の移転
 - 8月10日 音楽棟竣工
 - 12月2日 学生宿舎一部竣工
- 昭和57年 1月20日 美術棟、体育棟、体育館、小体育館竣工
 - 3月31日 職員研修センター竣工
 - 4月1日 **保健管理センター設置**
 - 8月28～29日 昭和58年度大学院入学者選抜試験実施
 - 12月11～12日 昭和58年度大学院第2次入学者選抜試験実施
 - 12月15日 学生宿舎一部竣工
- 昭和58年 1月25日 附属図書館竣工
 - 3月28日 自然棟竣工
 - 3月31日 本部事務局竣工

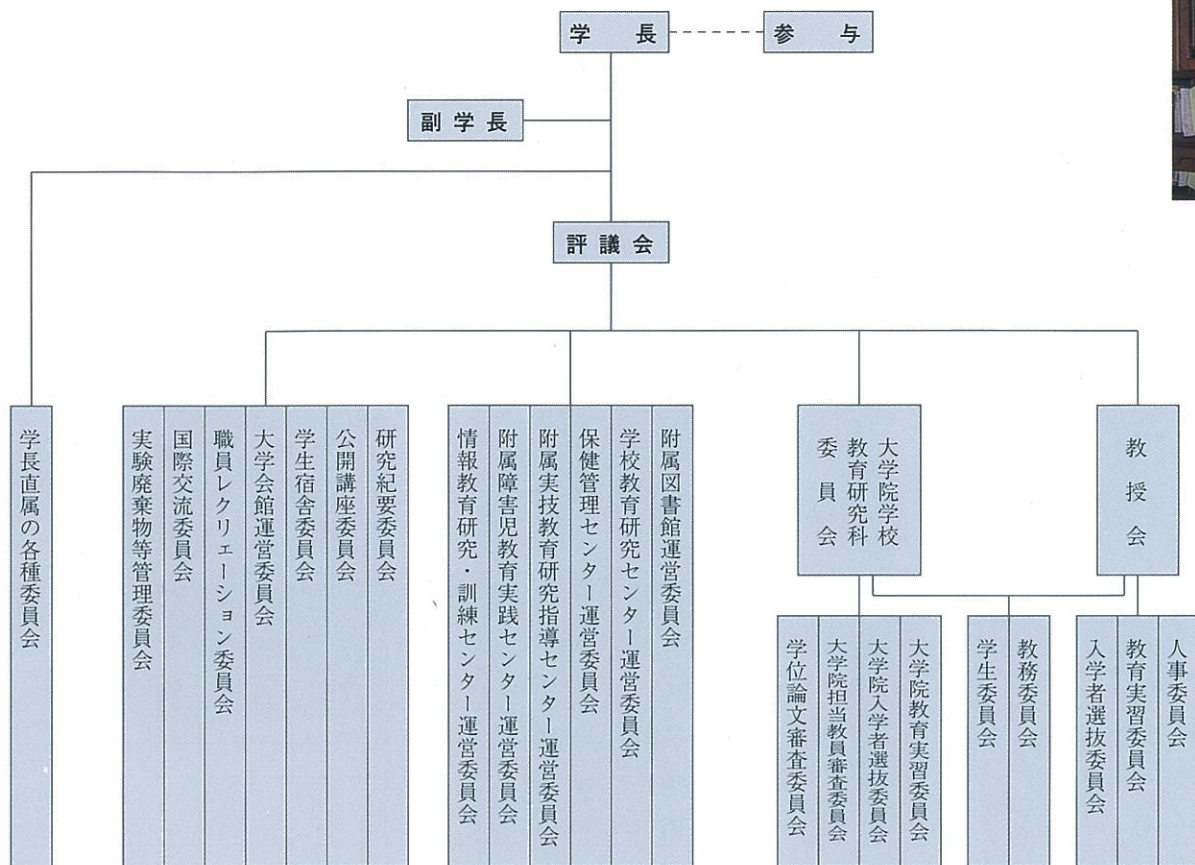
- 4月1日 **大学院学校教育研究科設置**（学校教育専攻及び教科・領域教育専攻、入学定員140名）
学校教育研究センター設置
- 4月12日 附属図書館開館
- 4月14日 **第1回大学院入学式挙行**
- 5月30日 陸上競技場竣工
- 10月1日 **創立5周年記念式典挙行**
- 昭和59年 2月10日 学生宿舍竣工
- 3月30日 プール竣工
- 4月1日 大学院学校教育研究科に幼児教育専攻及び障害児教育専攻を増設し、入学定員を300人に改定
- 6月15日 学校教育研究センター竣工
- 8月31日 課外活動共用施設竣工
- 昭和60年 3月15日 第1回学部卒業式及び第1回大学院学位記授与式挙行
- 3月26日 附属小学校校舎（増築）竣工
- 4月1日 学長に辰野千壽が再任
- 昭和62年 1月28日 附属中学校校舎（増築）竣工
- 4月1日 学長に辰野千壽が再任
附属障害児教育実践センター設置
- 昭和63年 3月31日 附属中学校体育館竣工
- 5月11日 情報教育研究・訓練センター設置
- 11月30日 講堂竣工
- 12月7日 **開学10周年記念式典挙行**
- 平成元年 4月1日 **学長に松野純孝が就任**
- 平成2年 2月28日 赤倉野外活動施設竣工



組織図



運営図



学長 松野 純孝

役職員

学	長	松	野	純	孝
副	学	長	新	井	郁
副	学	長	大	野	雅
					敏

部局長等

附属図書館長	相	馬	正	一
第一部学部主事	村	田	貞	雄
第二部学部主事	安	西	廸	夫
第三部学部主事	田	中		博
第四部学部主事	大	橋	皓	也
第五部学部主事	元	治	信	雄
学校教育 研究センター長	閏	間	豊	吉
保健管理センター所長	山	本		保
附属実技教育研究 指導センター長	増	谷	直	樹
附属障害児教育実践 センター長	小	宮	三	彌
附属小学校長	加	藤		章
附属小学校副校長	保	坂	圭	介
附属中学校長	押	谷	慶	昭
附属中学校副校長	飯	田	隆	夫

評議員

学	長	松	野	純	孝
副	学	長	新	井	郁
副	学	長	大	野	雅
					敏
附属図書館長		相	馬	正	一
学校教育 研究センター長		閏	間	豊	吉
教	授	村	田	貞	雄
教	授	湧	井		豊
教	授	安	西	廸	夫
教	授	二	谷	貞	夫
教	授	田	中		博
教	授	大	橋	皓	也
教	授	元	治	信	雄
教	授	増	谷	直	樹
教	授	加	藤		章

事務局

事務局長	竹	内	世	武
総務部長	鈴	木	佳	彦
庶務課長	上	戸	敏	信
会計課長	大	平	忠	幸
施設課長	藤	田	哲	男
教務部長	森		基	泰
教務課長	内	藤	賢	夫
学生課長	大	田	黒	正
図書課長	郡	司	良	夫
入学主幹	中	林	邦	夫

参 与

東 洋 (白百合女子大学教授)

井 内 慶次郎 (大学審議会委員
東京国立博物館長)

植 木 公 (上越市長)

金 子 清 (新潟県知事)

堺 嘉 治 (新潟県小学校長会長)

坂 本 光 一 (東京都教育委員会教育長
都道府県教育長協議会幹事長)

関 四 郎 (日本教育大学協会長
東京学芸大学長)

辰 野 千 壽 (前上越教育大学長
財団法人応用教育研究所長)

宮 崎 八百一郎 (新日本製鐵株式会社顧問)

職員の定員

(平成3年4月1日現在)

区 分	学 長	副学長	教 授	助教授	助 手	小 計	教 頭	教 諭	養護教諭	計	事務局 職 員	合 計
学 長	1					1				1		1
副 学 長		2				2				2		2
学 校 教 育 学 部			82	67	25	174				174		174
学校教育研究センター			3	3		6				6		6
保 健 管 理 セ ン タ ー			1			1				1		1
附属実技教育研究指導センター			4	1		5				5		5
附属障害児教育実践センター			1	1		2				2		2
附 属 小 学 校							1	15	1	17		17
附 属 中 学 校							1	15	1	17		17
事 務 局											130	130
計	1	2	91	72	25	191	2	30	2	225	130	355

部及び講座の構成

部	講 座	主な授業科目
第 1 部	教育基礎	教 育 本 質 論 教 育 心 理 学 教 育 社 会 学 教 育 人 間 学 特 論 教 育 心 理 学 特 論
	教育経営	教 育 制 度 論 学 校 経 営 論 教 育 行 財 政 論 学 校 経 営 学 特 論 社 会 心 理 学 特 論
	教育方法	教 育 評 価 論 教 育 課 程 論 教 育 方 法 学 教 育 方 法 学 特 論 学 習 心 理 学 特 論 教 育 研 究 法 特 論 教 育 工 学 特 論 教 育 課 程 特 論
	生徒指導	生 徒 指 導 論 特 別 活 動 研 究 道 徳 教 育 論 生 徒 指 導 特 論 道 徳 教 育 特 論 同 和 教 育 特 論
	幼児教育	幼 児 教 育 原 論 幼 児 心 理 学 保 育 内 容 幼 児 児 童 教 育 学 特 論 幼 児 児 童 心 理 学 特 論 幼 児 児 童 教 育 内 容 特 論

部	講 座	主な授業科目
第 1 部	障 害 児 教 育	障 害 児 教 育 原 理 障 害 児 教 育 ・ 福 祉 総 論 障 害 児 教 育 行 政 制 度 論 障 害 児 心 理 学 総 論 大 腦 生 理 ・ 病 理 学 特 論
第 2 部	言 語 系 育 教 育	国 語 学 英 語 学 ド イ ツ 語 学 言 語 (国 語) 文 化 論 国 語 学 ・ 国 文 学 特 論 英 語 科 教 育 論 言 語 学 文 学 理 論
	社 会 系 育 教 育	哲 学 倫 理 学 法 律 学 社 会 学 経 済 学 歴 史 学 地 理 学 現 代 思 想 研 究 日 本 の 文 化 と 民 俗 地 域 研 究 現 代 社 会 論 社 会 科 教 育 論
第 3 部	自 然 系 育 教 育	自然Ⅰ (物理学・化学) 自然Ⅱ (生物学・地学) 代 数 学

部	講 座	主な授業科目
第3部	自然系 教育	幾何学講 解析学特 数 学 特 数 学 教 育 論 理 科 教 育 論 自然科学Ⅰ(物理学・科学) 自然科学Ⅱ(生物学・地学)
第4部	芸術系 教育	ソルフェージュ 声 楽 ピ ア ノ 奏 法 基 礎 造 形 彫 塑 工 芸 現 代 音 楽 民 族 音 楽 造 形 論 造 形 心 理 学 特 論 書 道 特 論
第5部	生活・ 健康系 教育	運 動 方 法 学 保 健 体 育 学 学 校 保 健 家 庭 電 気 ・ 機 械 食 物 学 被 服 学 住 居 学 保 健 体 育 教 育 論 技 術 教 育 論 家 庭 科 教 育 論 家 庭 經 営 学 特 論



大学の建物及び上越市(直江津地区)

学生数

学校教育学部

(平成3年5月1日現在)

課 程	入学定員	現 員											
		1 年 次			2 年 次			3 年 次			4 年 次		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
初等教育教員養成課程	200	86	119	205	67	139	206	75	127	202	85	130	215
		313	515	828									

大学院学校教育研究科 (修士課程)

(平成3年5月1日現在)

専 攻 ・ コ ー ス		入学定員	現 員								
			1 年 次			2 年 次			合 計		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計
学 校 教 育 専 攻	教 育 基 礎 コ ー ス	約15	9	5(1)	14(1)	7	3	10	16	8(1)	24(1)
	教 育 経 営 コ ー ス	約15	7	1	8	8(1)	1	9(1)	15(1)	2	17(1)
	教 育 方 法 コ ー ス	約10	18	2	20	16(1)	0	16(1)	34(1)	2	36(1)
	生 徒 指 導 コ ー ス	約10	12	3	15	10	2	12	22	5	27
	計	50	46	11(1)	57(1)	41(2)	6	47(2)	87(2)	17(1)	104(3)
幼 児 教 育 専 攻		15	1	0	1	6	6	12	7	6	13
障 害 児 教 育 専 攻		25	15	7	22	15	5	20	30	12	42
教 科 ・ 領 域 教 育 専 攻	言 語 系 コ ー ス	約40	17	9(1)	26(1)	16(1)	4	20(1)	33(1)	13(1)	46(2)
	社 会 系 コ ー ス	約30	24	3(1)	27(1)	26	0	26	50	3(1)	53(1)
	自 然 系 コ ー ス	約50	34(1)	2	36(1)	29	0	29	63(1)	2	65(1)
	芸 術 系 コ ー ス	約50	19(2)	11(2)	30(4)	19	17	36	38(2)	28(2)	66(4)
	生 活 ・ 健 康 系 コ ー ス	約40	18	5	23	19(1)	6	25(1)	37(1)	11	48(1)
計		210	112(3)	30(4)	142(7)	109(2)	27	136(2)	221(5)	57(4)	278(9)
合 計		300	174(3)	48(5)	222(8)	171(4)	44	215(4)	345(7)	92(5)	437(12)

()内は、外国人留学生で内数

研究生

(平成3年5月1日現在)

区 分	現 員		
	男	女	計
学 校 教 育 学 部	5(3)	4(1)	9(4)
大学院学校教育研究科	3	5	8

()内は、外国人留学生で内数

聴講生

(平成3年5月1日現在)

区 分	現 員		
	男	女	計
学 校 教 育 学 部	4	4(1)	8(1)
大学院学校教育研究科	2	0	2

()内は、外国人留学生で内数

入学志願者数及び入学者数

学校教育学部

(平成3年度)

課 程	入学定員	志 願 者 数			入 学 者 数		
		男	女	計	男	女	計
初等教育教員養成課程	200	438	572	1,010	86	119	205

大学院学校教育研究科（修士課程）

(平成3年度)

専 攻・コ ー ス		入学定員	志 願 者 数			入 学 者 数		
			現 職	その他	計	現 職	その他	計
学校教育専攻	教育基礎コース	約15	9(2)	8(5)	17(7)	10(2)	4(3)	14(5)
	教育経営コース	約15	5	3	8	6(1)	2	8(1)
	教育方法コース	約10	19(1)	4(2)	23(3)	18(1)	2(1)	20(2)
	生徒指導コース	約10	18(2)	3(2)	21(4)	13(1)	2(2)	15(3)
	計	50	51(5)	18(9)	69(14)	47(5)	10(6)	57(11)
幼児教育専攻		15	1	5(3)	6(3)	1	0	1
障害児教育専攻		25	9(1)	22(11)	31(12)	8(1)	14(6)	22(7)
教科・領域教育専攻	言語系コース	約40	18(2)	21(11)	39(13)	17(2)	9(7)	26(9)
	社会系コース	約30	18(1)	20(5)	38(6)	17	10(3)	27(3)
	自然系コース	約50	28(1)	14(3)	42(4)	29(1)	7(1)	36(2)
	芸術系コース	約50	9(2)	28(14)	37(16)	9(2)	21(10)	30(12)
	生活・健康系コース	約40	14(1)	18(8)	32(9)	14	9(5)	23(5)
	計	210	87(7)	101(41)	188(48)	86(5)	56(26)	142(31)
合 計		300	148(13)	146(64)	294(77)	142(11)	80(38)	222(49)

()は女子で内数

国費外国人留学生(入学定員外)2人を含む

都道府県別入学状況

学校教育学部

(平成3年度)

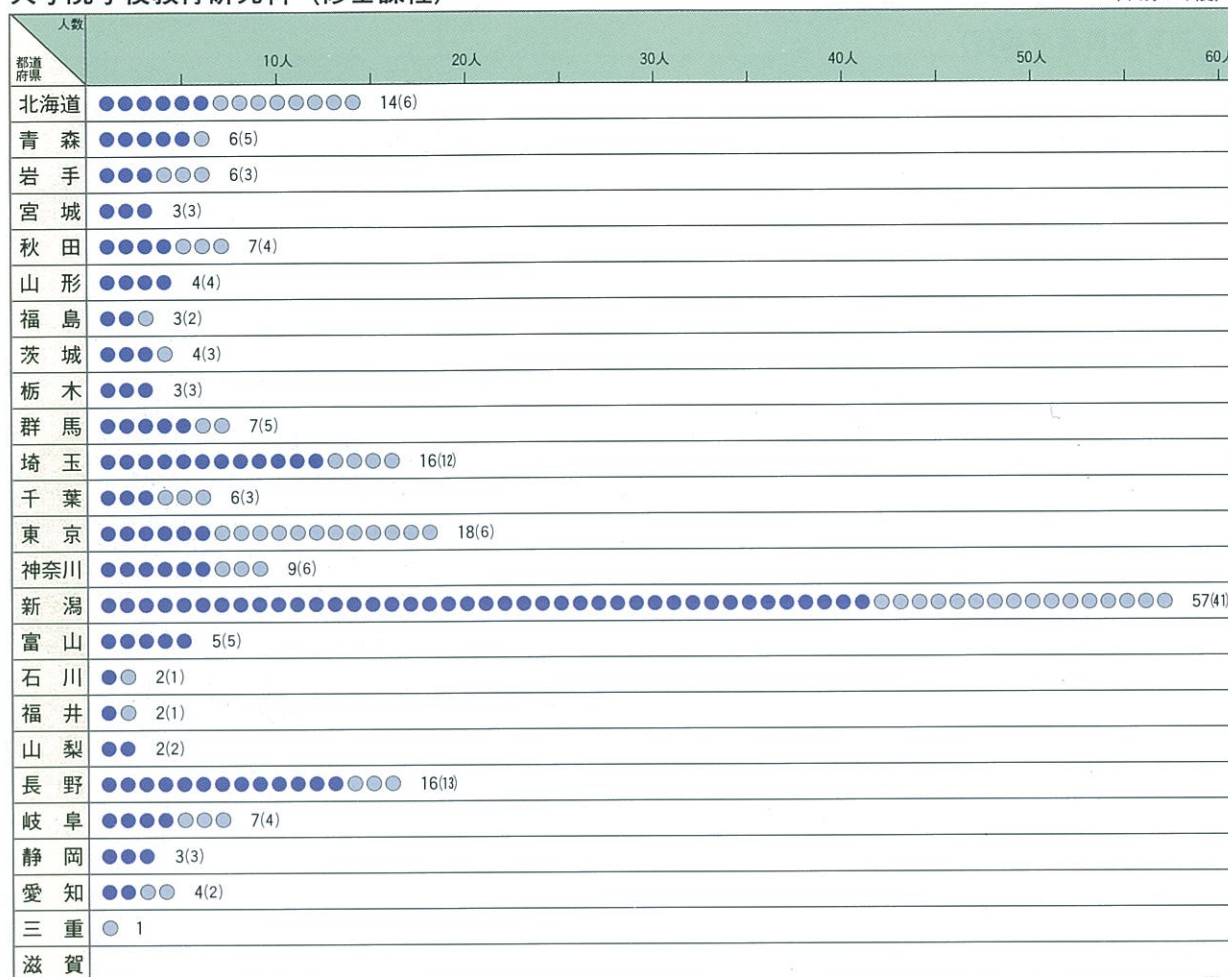
都道府県	人数
北海道	2
青森	7
岩手	1
宮城	1
秋田	1
山形	10
福島	9
茨城	1
栃木	8
群馬	8
埼玉	
千葉	1
東京	1
神奈川	
新潟	31
富山	12
石川	11
福井	12
山梨	
長野	14
岐阜	6
静岡	2
愛知	11
三重	2
滋賀	2

都道府県	人数
京都	1
大阪	
兵庫	6
奈良	
和歌山	
鳥取	3
島根	7
岡山	4
広島	1
山口	1
徳島	4
香川	
愛媛	6
高知	
福岡	1
佐賀	
長崎	8
熊本	1
大分	3
宮崎	4
鹿児島	2
沖縄	
外国	
合計	205

大学院学校教育研究科（修士課程）

（平成3年度）

●現職教員
○現職教員以外



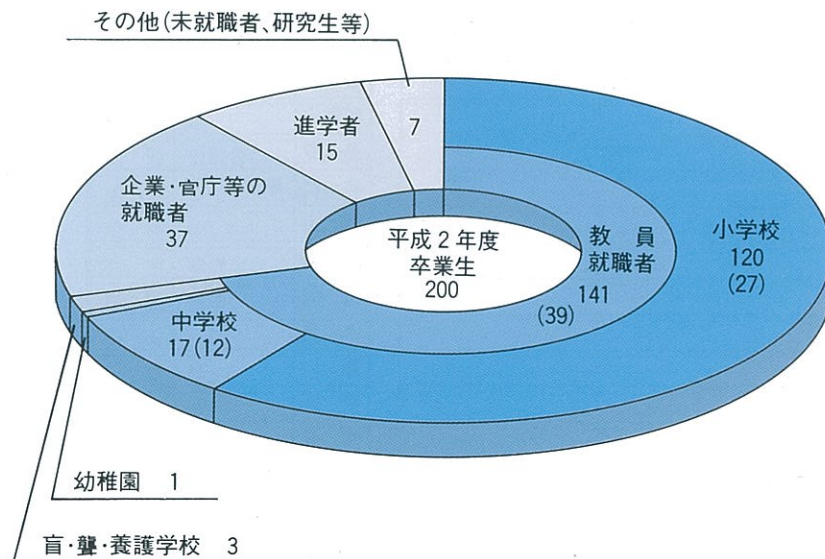
（ ）内は、現職教員で内数



就職状況

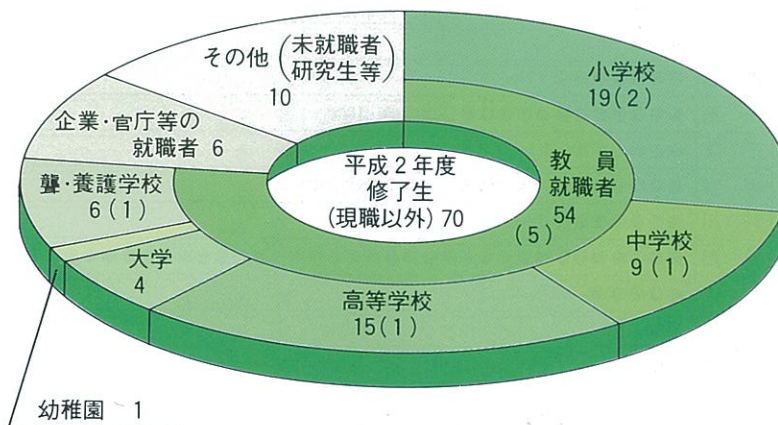
学校教育学部（初等教育教員養成課程）

（平成3年5月1日現在）



大学院学校教育研究科（修士課程）

（平成3年5月1日現在）



（ ）内は、育児休業・病休・産休教員の代替教員、その他1年以内の期限付き教員として採用された者で内数

（参考）大学院学校教育研究科の現職修了生は、135人（復職内訳 小学校64人、中学校48人、高等学校11人、聾・養護学校9人、その他3人）

奨学生数

(平成3年3月31日現在)

区 分		在籍者数	日 本 育 英 会				各種奨学金		合 計	
			第一種	第二種	計	受給率(%)	奨学生数	受給率(%)	奨学生数	受給率(%)
学校教育学部	1 年次	206	57	11	68	33.0	2	1.0	70	34.0
	2 年次	202	52	12	64	31.7	2	1.0	66	32.7
	3 年次	201	45	13	58	28.9	4	2.0	62	30.8
	4 年次	214	47	13	60	28.0	4	1.9	64	29.9
	小 計	823	201	49	250	30.4	12	1.5	262	31.8
大学院 学校教育研究科	1 年次	79	40	—	40	50.6	—	—	40	50.6
	2 年次	75	38	—	38	50.7	—	—	38	50.7
	小 計	154	78	—	78	50.6	—	—	78	50.6
合 計		977	279	49	328	33.6	12	1.2	340	34.8

大学院の在籍者数は、現職教員及び外国人留学生を除く数

福利厚生施設

大学会館

室 名	備 考
第 1 食 堂	3 1 2 席
第 2 食 堂	2 8 席
売 店	書籍、文具、食料品、日用品等
喫 茶 室	5 8 席
理 容 室	2 席
美 容 室	2 席
集 会 室	5 室(うち、和室2室)

赤倉野外活動施設

室 名	備 考
食堂・講義室・集会室(1F)	3 6 席
宿 泊 室(2F)	和室 1 室(10畳)
	洋室 3 室(24人)



大学会館・第一食堂



大学会館・売店



大学会館・喫茶室



学生宿舎

区 分	構造・階数	延 面 積	収容人員
単身用学生宿舎	R 5	13,849m ²	720

区 分	構造・階数	延 面 積	戸 数
世帯用学生宿舎	R 5	4,007m ²	80 戸

公開講座等

公開講座

一般市民の教養を高め、地域の文化の向上及び現職教員等の研修に資するため、本学に公開講座を開設している。

(平成3年度実施計画)

種 類	講 座 名	定 員
一般公開講座	これからの障害児・者教育	30
	BASIC入門	20(初心者)
	ハイパーカード入門	20(初心者)
	上越の自然観察	50
	陶芸講座 一磁器大皿に絵付けをする一	30(中級者)
現職公開講座	世界史教育の探求	30(高等学校の担当教員)



文化講演会

本学の学生及び一般市民の教養を高め、視野を広げるため上越市と共催で、優れた研究者、文化人を招いて講演会を開催している。

(平成3年度実施計画)

期 日	演 題	講 師
6月1日(土)	ひとにとって水とは何か 一開発と汚染一	東京成徳短期大学教授 山 本 庄 毅
9月28日(土)	歯で泣かないための話 一歯が無ければ動物は死ぬ一	昭和大学歯学部教授 福 原 達 郎
10月26日(土)	イスラムの知恵	筑波大学助教授 五十嵐 一





講堂



ホール内部

附属図書館

蔵書数

(平成3年3月31日現在)

区 分	蔵 書 数	内 訳	
		和	洋
図 書	144,439冊	113,332	31,107
雑 誌	1,829冊	1,244	585

利用状況

(平成2年度)

開 館 日 数			286
入 館 者 数			77,110
館 外 貸 出	利用人数	学 生	19,174
		職 員	1,818
		計	20,992
	貸出冊数	学 生	47,443
		職 員	7,030
		計	54,473
相 互 協 力	文献複写	受 付	239
		依 頼	3,320
	相互貸借	貸 出	0
		借 受	294



附属図書館



閲覧室

学校教育研究センター

学校教育の実践に係る科学的研究並びに実地教育（教育実習を含む。）などに関する研究開発を総合的、統一的に推進することを目的とする学内共同の教育研究施設として、学校教育研究センターを設置している。

このセンターには、「教育資料・交流」「教育工学」「実地教育」の各分野を置いている。

- 機能
- (1) 教師教育を推進するために、附属学校及び協力校との緊密な連携のもとに、教育実践にかかわる実証的科学的研究を進める。
 - (2) 優れた資質能力を備えた教員を養成する基盤として、教育の実地研究を推進し、教育実習及びその事前・事後の訓練について分析、検討や研究開発を進め、それらの抜本的改善を図る。
 - (3) 教育現場における教育実践にかかわる諸問題の解決や新しい教師教育推進のため、情報や資料を広く収集・整理するとともに、共同研究のできる教育理論と実践の総合的教育研究施設とする。



教育工学実習



公開講演会

附属実技教育研究指導センター

学部における教育や研究と密接な関連を保ち、主として学生の自学自習により、教育に関する实际的、技術的能力、実技指導能力などの涵養を図るため、学部附属した実技教育研究指導センターを設置している。

このセンターには、「音楽教育」「美術教育」「体育教育」「外国語教育」の各分野を置いている。



「音楽教育」分野



「美術教育」分野



「体育教育」分野



「外国語教育」分野

- 機能 実技を伴う教科における実技指導力不足の状況を改善し、指導内容・方法に関する研究開発と指導力の向上を図るため、その指導等を行う。
- 「音楽教育」分野 音楽に関する理解の深化、各種楽器(特にピアノ)演奏や歌唱能力の伸長及び実力の認定
- 「美術教育」分野 美術・工芸に関する理解の深化、各種の美術・工芸技法の習熟を図るとともに、A V (視聴覚) 資料以外の各種の教材作成の技能の習熟
- 「体育教育」分野 体力の増強と各種の運動技法の習熟及び実力認定
- 「外国語教育」分野 外国語の読解、作文、聴解、対話に関する能力の伸長及び実力認定

附属障害児教育実践センター

大学院における障害児に関する実践的教育の研究推進と実地指導能力の向上を図るため、学部附属した障害児教育実践センターを設置している。

このセンターでは、「教育臨床」「教育相談」「教材・教具の開発」「指導者研修」の4分野が予定されている。

機能 障害児教育に関する臨床的、実践的な教育に重点を置き、複雑多岐にわたる障害児の個別指導を通して臨床経験を積み重ね、より質の高い診断・指導技術を向上させるため、研究・指導を行う。



教育臨床 (集団指導)



教育臨床 (個別指導)

情報教育研究・訓練センター

教育情報の収集や処理に関する基礎的研究と教育を目的とする学内共同の教育研究施設として、情報教育研究・訓練センターを設置している。(昭和63年度、学内措置による。)

現在このセンターでは、学内利用を目的とした教育情報データベースの構築が行われている。また、教育面では学部学生に対して教育情報処理の基礎訓練を行っており、併せて教官や大学院学生の研究も支援している。



センタールーム



情報教育の授業

保健管理センター

学生及び職員の心身の健康の保持・増進を図るため、保健管理センターを設置している。

このセンターでは、心身の健康状態を客観的に把握し、指導・助言を行うため、定期健康診断をはじめ、専門の職員による健康相談や精神衛生相談を実施するとともに、種々の疾病やけがに対して応急措置を講じている。

附属学校

学校教育に関する実証的な研究と学生の教育実習を行うため、附属小学校及び附属中学校を設置している。
また、将来は、附属幼稚園及び附属養護学校を設置する予定である。

(平成3年5月1日現在)

区 分	入学定員	児 童 生 徒 数							学 級 数
		1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	計	
附属小学校	80	80(36)	84(43)	82(35)	81(42)	72(43)	80(37)	479(236)	12
附属中学校	120	126(57)	126(56)	120(56)	—	—	—	372(169)	9

()内は、女子で内数



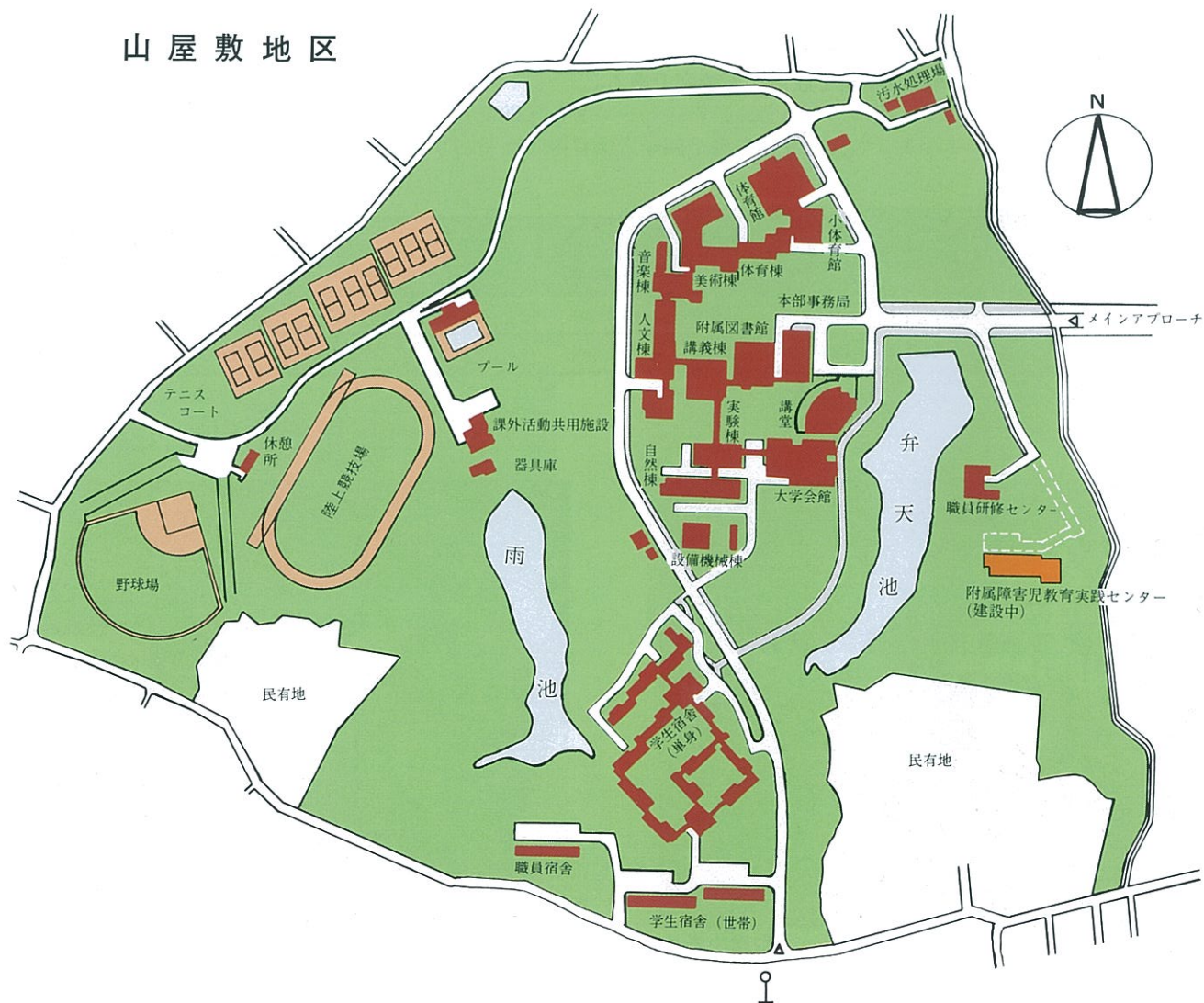
附属小学校



附属中学校

建物配置図

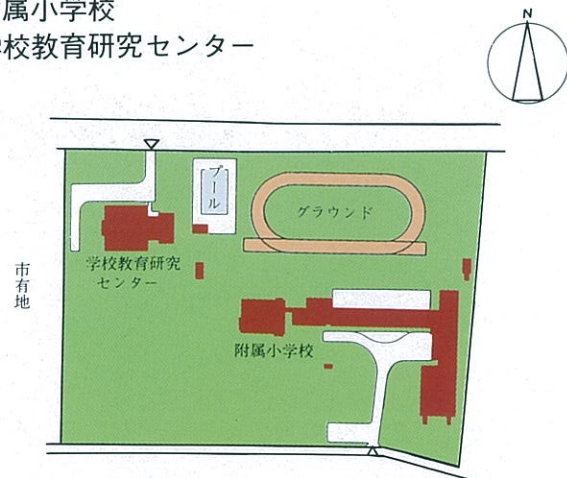
山屋敷地区





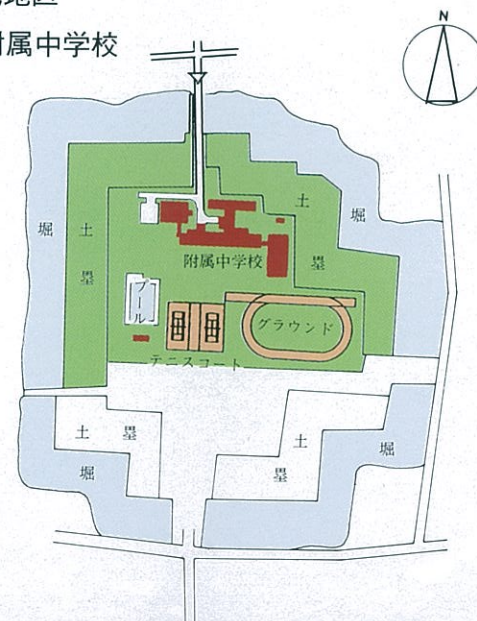
西城地区

附属小学校
学校教育研究センター



本城地区

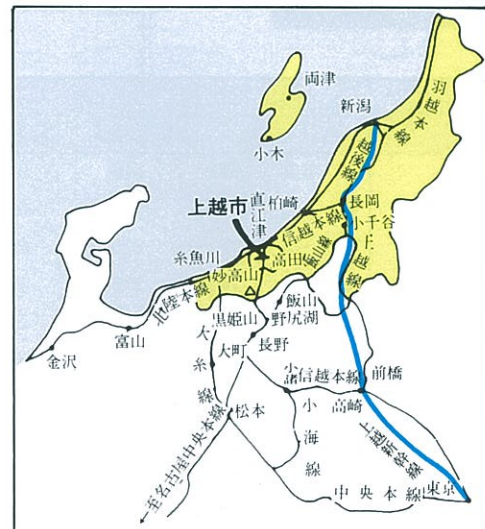
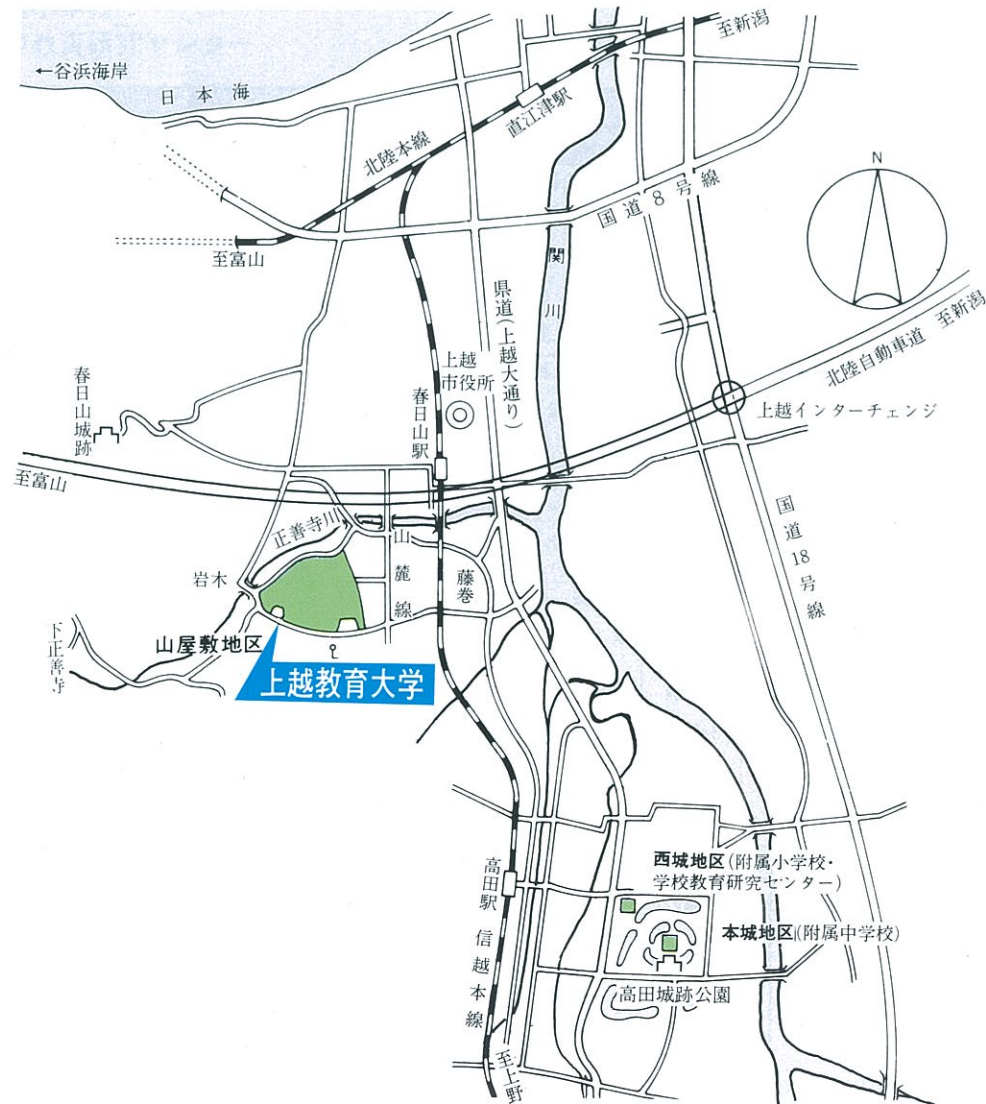
附属中学校



土地・建物

区 分	建 物			備 考	区 分	建 物			備 考	
	名 称	建物面積㎡	延面積㎡			名 称	建物面積㎡	延面積㎡		
山屋敷地区 (356,199㎡)	人 文 棟	1,516	9,153	建設中	西城地区 (36,292㎡)	学校教育研究センター	893	1,864		
	自 然 棟	912	6,393			小 学 校 校 舎	1,801	3,506		
	講 義 棟	828	2,193			小 学 校 体 育 館	600	600		
	実 験 棟	573	1,152			そ の 他	281	289		
	音 楽 棟	741	2,829		計	3,575	6,259			
	美 術 棟	1,526	3,858		本城地区 (50,124㎡)	中 学 校 校 舎	1,623		3,724	
	体 育 棟	594	1,723			中 学 校 体 育 館	934		2,157	
	体 育 館	1,404	1,404			そ の 他	391		391	
	小 体 育 館	636	1,214		計	2,948	6,272			
	本 部 事 務 局	716	2,139		赤倉地区 (1,871㎡)	赤倉野外活動施設	209		395	
	附 属 図 書 館	945	3,196			そ の 他 (7,340㎡)	西 城 研 修 所	73	98	9 棟33戸 B型15戸 C型18戸
	附 属 障 害 児 教 育 実 践 セ ン タ ー	(660)	(1,159)		西 城 宿 舎		926	1,955		
	大 学 会 館	1,641	2,217		北 城 宿 舎		452	1,341	1 棟12戸 E型	
	講 堂	1,045	1,078		そ の 他		19	19		
	職 員 研 修 セ ン タ ー	402	402		計	1,470	3,413	合 計	28,496	77,567
	設 備 機 械 棟	438	688	合 計						
	学 生 宿 舎	4,451	17,856	世帯40戸用 2 棟 単身60人用 3 棟 ◇ 80 ◇ 1 棟 ◇ 100 ◇ 1 棟 ◇ 120 ◇ 3 棟	区分欄の()内は、土地面積					
	職 員 宿 舎	380	1,814	1 棟30戸 B型15戸 C型15戸						
	そ の 地	1,546	1,919							
	計	20,294	61,228	建設中の建物を除く						

位置図



本学への道順

- 信越本線「高田駅」下車、高田駅近くの本町6丁目停留所から教育大学線のバスに乗車（約15分）教育大学下車。「高田駅」からタクシーで約10分。
- 信越本線「春日山駅」（急行・特急通過駅）下車、徒歩約25分。
- 北陸本線・信越本線「直江津駅」下車、直江津駅前から教育大学線のバスに乗車（約20分）教育大学下車。「直江津駅」からタクシーで約15分。



春日山の上杉謙信公像



高田城跡公園の夜桜



高田平野から望む妙高山



谷浜海岸

所在地

名	称	所 在 地	電 話 番 号
上越教育大学	事 務 局		
	学 校 教 育 学 部		
	大学院学校教育研究科		
	附 属 図 書 館		
	保 健 管 理 セ ン タ ー	〒943 上越市山屋敷町1番地	(0255)22-2411(代)
	大 学 会 館		
	学校教育学部附属実技教育 研究指導センター		
	学校教育学部附属障害児教 育実践センター		
	学 校 教 育 研 究 セ ン タ ー	〒943 上越市西城町1丁目7番2号	(0255)25-9147
	赤 倉 野 外 活 動 施 設	〒949-21 新潟県中頸城郡妙高原町 大字赤倉字広157-3	(0255)87-2464
	学校教育学部附属小学校	〒943 上越市西城町1丁目7番1号	(0255)23-3610
	学校教育学部附属中学校	〒943 上越市本城町6番2号	(0255)23-5313
	単 身 用 学 生 宿 舎		
	世 帯 用 学 生 宿 舎	〒943 上越市山屋敷町1番地	



上越教育大学概要／平成3年度

平成3年6月発行

編集・発行 上越教育大学総務部庶務課

〒943 新潟県上越市山屋敷町1番地

電話 0255-22-2411



JOETSU UNIVERSITY OF EDUCATION